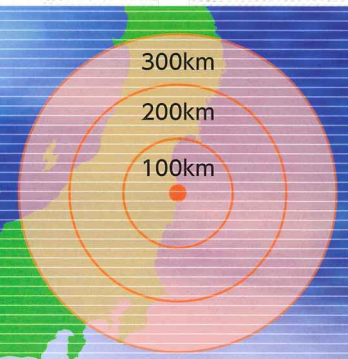


フクシマから考える 暮らしの安全



東日本大震災から数ヶ月が経過しましたが、各被災地の状況は未だ復旧復興の目途が立たない深刻な状況にあります。

震災により福島第一原発において炉心溶融事故が発生し、それにより放出・拡散した放射能によって、大気・水・食物等の様々な経路から被曝が心配される状況となっています。

兵庫県弁護士会では、今、事故のあった福島第一原発周辺で起こっている現実を直視し、今後、私たちが原子力発電とどう向き合っていくのか、暮らしの安全(人権)という視点から、市民の皆さまと共に学習する集会を企画しています。

日時 平成23年 **11月12日** 土

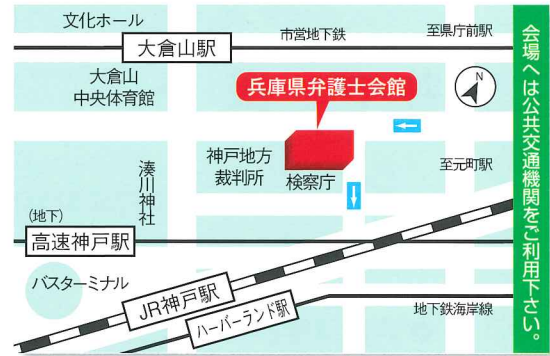
午後1時～4時30分

(開場：午後0時30分)

申込み不要・参加費無料

場所 **兵庫県弁護士会館 4階講堂**

神戸市中央区橘通1-4-3



❖ プログラム ❖

① 基調報告

② 基調講演「放射線被曝について」

講師：今中 哲二 (京都大学原子炉研究所助教)

③ パネルディスカッション「原発事故による被曝の実態とこれから」

パネリスト

今中 哲二 氏 (京都大学原子炉研究所助教)

井戸 謙一 氏 (弁護士、元裁判官)

安田 信二 氏 (福島民報 編集局次長)

④ ビデオレター上映

藤波心さんほか、各方面の方から集めた声を皆様にお届けします。

パネリストのご紹介

今中 哲二

- 京都大学原子炉研究所助教
- 大阪大学原子力工学科卒、東京大学理工学研究科原子核工学修士課程修了。
- 1976年より現職。専門は原子力工学。
- チェルノブイリ原発事故でも現地調査等を行っている。

井戸 謙一

- 裁判官任官後、平成23年4月弁護士登録。
滋賀弁護士会所属。
- 志賀原発2号機原子炉運転差止請求訴訟で裁判官を務め、差止請求認容判決を
言い渡した。

安田 信二

- 昭和57年4月、福島民報社入社。浪江支局長、編集局社会部長、同報道部長を
経て平成23年4月から編集局次長。
- 浪江支局勤務時に、東京電力福島第一原発、同福島第二原発の立地地域である
福島県双葉郡(8町村)を担当した。